

仙台市文化芸術推進基本計画
令和7(2025)年度 取組み予定
〔重点プロジェクト〕

重点プロジェクト

①文化芸術の担い手を育む協働プロジェクト

市民主体により築かれた本市の豊かな文化的環境を未来へとつなぐため、様々な文化芸術活動を多様な主体との協働により推進し、継続、発展に向けた担い手の育成につなげます。また、これからの本市の文化芸術環境を支える仕組みについて検討を進めます。

〔R7 取組み予定〕

取組み項目	地域の社会課題と向き合う文化芸術活動に対する助成
目的	共生社会の実現に向けた取組み等、社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動を多様な主体との協働により推進し、継続、発展に向けた担い手の育成につなげる。
事業内容	次の①②の取組みに対し助成を行うとともに、②の採択者に対し助言・相談・広報・事業評価等の側面支援(伴走支援)を併せて行う「文化芸術を地域に生かす創造支援事業」を実施する。 ①文化芸術の創造・発信事業 地域の文化芸術の活性化やまちの魅力向上に資する事業 ②文化芸術と社会の連携推進事業 他分野に関連する地域や社会の課題に向き合う先進的・独創的な文化芸術事業 
予算	27,130 千円

取組み項目	定禅寺通アート・エンタメ創出事業
目的	再整備により生まれ変わる定禅寺通を見据え、地元の団体や人材と連携しながらアート・エンタメの取組みを創出することにより、ワクワクする多彩な魅力あふれる街づくりの推進を図る。
事業内容	①定禅寺 ART STREET 定禅寺通の中央緑道や沿道の民間ビル、西公園等でアート作品の展示やパフォーマンス等を実施。民間主催の独立採算イベントとのタイアップや既存の民間主催のイベントとのコラボレーション等を検討するなど、再整備後の定禅寺通でどのようなアート・エンタメの活動が展開できるか、実証実験的に取り組む。 ②東北芸工大クリエイティブ・スクール 東北芸術工科大学の教員をはじめ、デザイン・まちづくり、エンターテインメントなどの分野で活躍する専門家による一般市民向けの公開講座を開催する。 ③オンディスプレイ・プロジェクト メディアテーク館内の共用スペースへアート作品を展示。常時アートに触れることのできる空間を創り出し、館のさらなる魅力向上を図る。
予算	19,832 千円

〔検討事項〕

- ・多様な人材の育成と活動環境の向上に係る仕組みや、活動主体同士の情報交換や学びの場の構築について検討を進める。

②創造性をひらく子ども・若者プロジェクト

未来の担い手である子どもたちの豊かな感性を育むため、子どものときから文化芸術に出会い、親しむ機会の充実を図ります。また、若い世代のアーティストの活動を支援するため、その育成・発表・活躍の機会の創出につながる新たな取組みについて検討を進めます。

〔R7 取組み予定〕

取組み項目	学校・保育所等へアーティストを派遣する取組み
目的	こどものときから文化芸術に出会い、親しむ機会を創出することで、こどもたちの豊かな感性を育む。

事業内容	市内の学校、幼稚園や保育所等を対象に、音楽・演劇・舞踊等の実演者を派遣し、こどもたちが文化芸術を体験するアウトリーチ事業を実施する。  
予算	6,045 千円(他に国事業の受託料あり)

③杜の都の新たなシンボルとなる文化拠点整備プロジェクト

「仙台の文化芸術の総合拠点」となる音楽ホールと「災害文化の創造拠点」となる中心部震災メモリアル拠点の複合整備を進めます。複合施設の強みを生かし、連携・協働事業を実施する等、仙台ならではの創造・発信を行い、仙台と世界をつなげる杜の都の新たなシンボルとなることを目指します。

〔R7 取組み予定〕

取組み項目	(仮称)国際センター駅北地区複合施設の整備
目的	複合施設の整備を着実に進める。
事業内容	令和 13 年度頃の開館を目指し、以下の取組みを進める。 ①基本設計を完了し、実施設計に着手する。 ②施設の運営のあり方などを定める「管理運営指針」の中間案を作成し、パブリックコメントを実施する。 ③管理運営指針に基づき展示計画の検討を行う。
予算	837,616 千円

取組み項目	機運醸成・開館を見据えたソフト事業の実施
目的	開館に向けた機運盛り上げや事業モデルの構築、関係者とのネットワーク構築を図る。
事業内容	以下の先行事業を実施する。 ①開館に向けた機運盛り上げや事業モデル構築のため、地域の様々な場所で文化芸術体験の機会を提供する事業を行う。 ②多様なステークホルダーとの協働により災害文化創造に資する取組みや情報発信を行うとともに、災害記録共有アーカイブの利活用を促進する。 ③施設のあり方を市民とともに考えるシンポジウム等を開催する。
予算	46,672 千円

④文化コンテンツによる賑わい創出プロジェクト

文化芸術の持つ多様な価値を生かし、仙台はじまりの地とも言える青葉山エリアや仙台の都心(定禅寺通・勾当台周辺、青葉通・一番町周辺、仙台駅周辺、宮城野通周辺)等、多くの人が集い、交流が生まれる魅力的な都市空間の実現に資する取組みを推進します。また、アートプロジェクトの展開を通じて仙台のアートの土壌を豊かにするとともに、仙台ゆかりの多様なコンテンツの活用、新たなコンテンツの創出により世界への発信力を高め、広くまちの活性化につなげます。

〔R7 取組み予定〕

取組み項目	青葉山エリアの文化観光推進
目的	「仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョン」の示す将来像の実現に資する取組みを推進する。
事業内容	①仙台城跡における伊達文化の魅力発信 伊達文化の更なる魅力発信および青葉山エリアでの滞在時間延長を図るため、仙台城跡の景観を活かした新たな賑わい創出のための実証事業を行う。 ②青葉山エリアにおけるナイトコンテンツ長期開催 青葉山エリアにおけるナイトコンテンツ事業について、長期開催に向けた支援を行うことで、観光客の認知度や満足度の向上を図る。

	③仙台七夕ナイトフェス 青葉山エリアでライトアップやプロジェクションマッピング、仙台城跡からの景観を活かした飲食スペースの提供、民間事業者とのイベントの連携等を行い、青葉山エリア一体のナイトタイム周遊促進および七夕まつり期間中の宿泊促進を図る。 ④青葉山エリア観光施設整備に係る基礎調査 青葉山エリアの魅力向上のために将来的に飲食施設等の観光施設の設置に向けた現地調査を行う。 ⑤瑞鳳殿受入環境強化 瑞鳳殿において、誰もが不自由なく観覧できる環境を整えるため、バリアフリー設備を整備する。 ⑥仙台すずめ踊り及び民俗芸能定期披露 観光コンテンツの一つとして、仙臺緑彩館において仙台すずめ踊りや民俗芸能を定期的に披露する。 ⑦ゴールデンウィーク期間中におけるシャトルバス運行 青葉山におけるゴールデンウィーク期間中の受入環境の整備や交通渋滞対策として、市道仙台城跡線においてシャトルバス運行及び一ふる仙台的迂回運行を行う。
予算	66,543 千円

取組み項目	漫画・アニメコンテンツを活用した誘客推進
目的	本市にゆかりのある漫画やアニメコンテンツを活用し、本市への誘客及び周遊を促進する等、まちの賑わい創出を図る。
事業内容	仙台観光特使に就任する『ハイキュー!!』のキャラクターを活用した誘客推進の取組みを進める。
予算	15,950 千円

取組み項目	現代アート等先端的な取組みの推進
目的	地域の人材・資源・課題と優れたアーティストの仕事をつなぎ、「未知のものに向かう」現代アート特有の力で、まちの魅力と活気を引き出すプロジェクトを展開する。

事業内容	せんだい・アート・ノード・プロジェクトの実施。 ①地域展開事業 被災沿岸部における住民との協働での作品制作「川俣正/仙台インプログレス」、雑がみを用いた市民参画プロジェクト「藤浩志/ワケあり雑がみ部」、中心街・商店街での文化交流創出プロジェクト「笹原浩平/社会実践ポストボン」などの、アーティストによるプロジェクトを展開する。  ②コミュニケーション事業 現代アートならびに事業への理解を深める機会づくりとして、自由参加型公開会議「MEETING」の開催、仙台の文化的活動者と協働による対話型イベント「TALK」の開催、東北各地のアート活動を発信する情報誌「JOURNAL」の発行を行う。 ③東北出身の若いアーティストらと、現在仙台で活動を行っているアート、文化関係者らの交流による人材育成事業として、「PARKING A30 大縁会」を実施する。
予算	16,000 千円
取組み項目	定禅寺通アート・エンタメ創出事業(再掲)